

山本町政の20年間で

# 町有地無法占有はなぜ解決しないか

「ほんまのことが知りたい」

9月議会が13日から開会されます。通常ならば、平成16年度の一般会計や特別会計の決算承認議案が提出されるところですが、監査委員2名の審査意見書が合意に至らないため、法の規定に基づき今議会には提出されません。先の議会運営委員会では、決算以外の議案審議として4日間の会期が確認されました。

なお、有志議員により、議員定数削減条例が提案される動きがあります。

西澤議員の一般質問通告書から質問の要旨などを紹介します。

## I、山本町政の20年を問う

「同和对策事業が最優先課題」だとし、「人権尊重のまち」「せせらぎ遊園のまちづくり」をすすめたと自称する山本町政の20年間は「全ての町民にとってどうだったか」と検証をこころみることにしています。

- 1、町民間の格差是正・緩和がすすんだか
- 2、雇用対策は前進したのか
- 3、町有地無法占有状態はなぜ克服できなかったか
- 4、町営住宅入居は、なぜ公募されなかったのか

- 5、農業育成・振興策で自慢できる実践・制度等をつくることができたか
- 6、尼子駅周辺整備事業をめぐるK氏の土地転がし疑惑はまだ晴れていないか
- 7、「差別」の源（みなもと）を克服する

ここに核心があるのでは。  
生活困窮・「貧困」の原因を除去する

ため、真剣に取り組んできたのか。山本町長がしばしば表現する、甲良町に横たわる課題「克服のために何が必要か。」

## II、いまだに個人情報保護条例は制定されていない

- 1、国の法律施行に対応する町内の条例整備の放置をただす

## III、来年度予算編成に当たって

国の来年度予算づくりの基本が発表され、本町も来年度に向けて予算編成作業が始まります。課題山積の中から象徴的な課題に絞って質問します。

- 1、誰もが安心して教育を受ける権利……就学援助制度の周知徹底と民主的運用、修学旅行助成制度の拡充は
- 2、医療費無料化制度の拡充は

## IV、自然・人災を問わず 災害への備え、未然防止の対策について

9月は防災の月。台風14号は、滋賀県の直撃はまぬがれましたが、各地に深刻な爪あとを残しました。

- 1、町内危険箇所（河川の決壊、家屋浸水がけ崩れ、交通事故など）の指定状況は
- 2、避難所開設とその連絡は
- 3、非常食等の備蓄は
- 4、防災無線の活用は
- 5、アスベスト対策は

## 9月議会日程

- 13日開会：提案説明、一部議案は質問・討論・採決  
16日最終日：討論・採決、一般質問、閉会  
一般質問は大町、中田、西澤、北川孫之丞各議員

傍聴にどうぞ  
おいで下さい



## 甲良民報

2005年9月11日 No295  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在士 463  
Tel.Fax38-4949

Eメール [info@jcp-nobuaki.com](mailto:info@jcp-nobuaki.com)  
のぶあきホームページ  
<http://www.jcp-nobuaki.com/>